

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	地域密着の基本理念に対し現状地域との関わりがまだまだ希薄な状態であることから地域に根付いた関わりの多い事業所にしていく必要がある。	グループホームと地域、利用者と地域住民の交流が盛んになり地域、地域住民にとってグループホームの存在意義が高まる。	積極的な広報活動により地域住民に愛の家の事を知って頂く。 近隣住民への運営推進会議への参加のご依頼。 町内会活動などの地域行事に職員、利用者の参加していく。	12ヶ月
2	35	年に2回の避難訓練を行っているがホームとして具体的な災害対策を行っていない為、しっかりと対策をとっていく。 又、地域住民に対し協力体制を整えておく必要がある。	地域住民の避難訓練参加が増え、よりリアルな形での訓練を行うことが出来る。 職員の災害に対する意識が高まり有事の際に迅速な対応が出来る状態になっている。	運営推進会議と避難訓練を同時開催する事で地域住民の参加が増えることを期待する。 職員に向けて災害対策の研修を行うことで災害に対する意識向上につなげる。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。